

**「京都市はぐくみプラン(京都市子ども・若者総合計画)(案)」に関する
市民意見募集の結果について（速報値）**

1 市民意見募集の概要

(1) 募集期間

令和6年11月20日(水)から令和6年12月22日(日)まで

(2) 御意見数

意見者数：621人（通常版239人、やさしい版382人）

意見総数：1,883件

(3) 御意見を頂いた方の属性

ア 居住地

京都市内	京都市外	記載なし
550人	33人	38人

イ 年齢

5歳以下 (小学生未満)	6歳～12歳 (小学生)	13歳～15歳 (中学生)	16歳～18歳 (中学卒業～18歳)
8人	201人	49人	88人
19歳～22歳	23歳～30歳	31歳～35歳	36歳～39歳
51人	23人	22人	31人
40歳代	50歳代	60歳代	70歳～
76人	21人	10人	9人
記載なし			
32人			

ウ 職業等 ※通常版のみ

会社員	公務員	自営業	フリーター	主婦・主夫
66人	8人	9人	2人	20人
学生	無職	その他	記載なし	
62人	3人	33人	36人	

2 御意見の内容

対応分類	件数
計画（最終版）に反映するもの	360件
計画（最終版）には反映しないが、 意見に対して回答するもの	363件
計画（案）に記載済み又は趣旨に含まれ、 賛同いただいているもの	981件
今後の取組の推進に際して参考とするもの	179件

京都市はぐくみプラン<2025-2029>（案）に対する意見の結果（やさしい版）

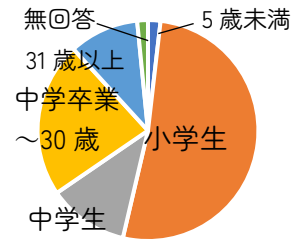
令和6年11月20日から12月22日の約1か月間で、プランへの意見を募集し、やさしい版では382人の方からの意見をいただきました。

【年齢】

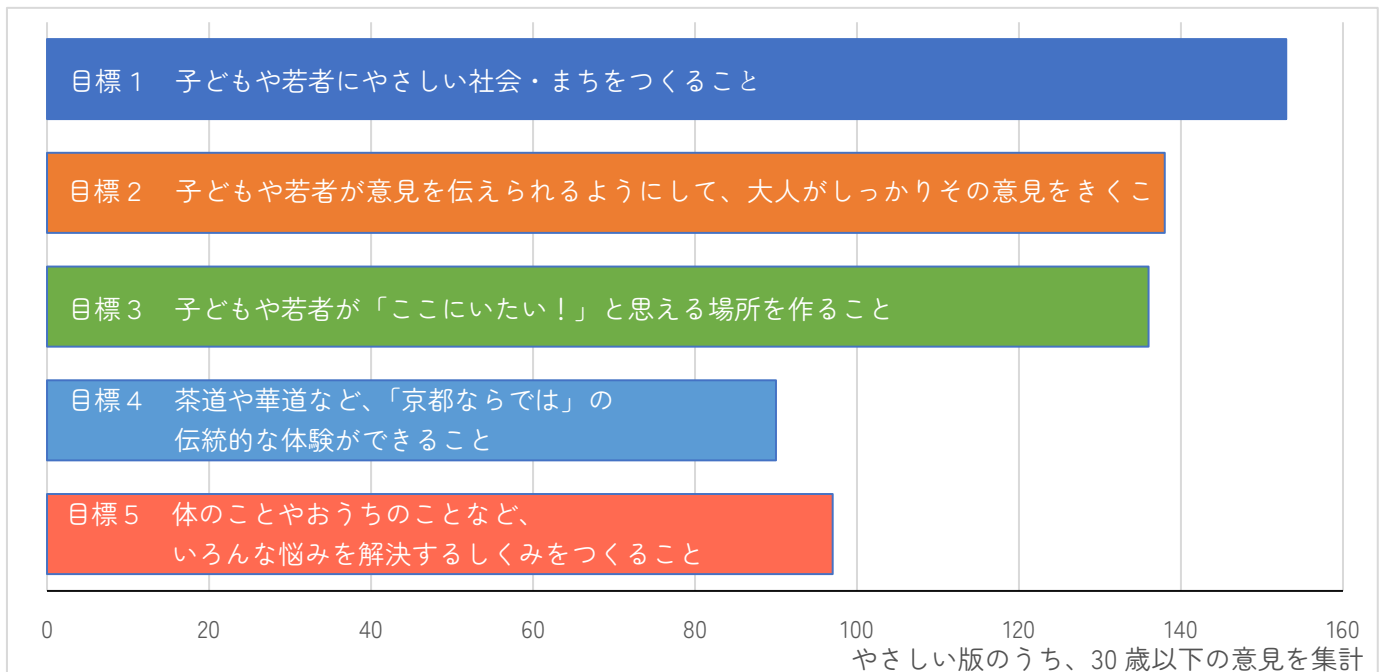
小・中学生の人からの意見は64%で、30歳以下の子ども、若者の人からの意見は全体の88%でした。

【お住まいの地域】

30歳以下の子ども・若者のうち京都市内に住んでいる人からの意見が全体の96%でした。



▶5つの目標の中で、大切だと思うものはどれですか。（「○」はいくつでも）



大切だと思うもので、一番多かったのは「目標1 子どもや若者にやさしい社会・まちをつくること」でした。



子どもや若者にやさしい社会・まちづくり 子どもを大切にしてほしいとの意見が多く寄せられました

主な意見



子どもは未来を託すための大切な存在

若者が少なくて大切にしてほしい

子ども・若者だけではなく大人からシニアまで尊重するのが大事だと思った

公園の遊具がいっぱいほしい

公園が汚いと人がこなくなる



子どもを大切にしてほしいといった意見が多く寄せられるほか、子どもだけではなく大人を含む全ての人にとって京都市を良いまちにしたいという意見もいただきました。

また、公園や遊び場に対する意見も多く寄せられたことを受けて、「京都市はぐくみプラン<2025-2029>（やさしい版）」では、公園の遊具を新しいものにしたり、雑草を取り除く回数を

増やしたり、といった公園の魅力アップのための取組を掲載しました。

② 意見を伝えること・きくこと

主な意見



大人が意見を聞いてくれなかったり否定されたりしたら

自信をなくし意見を言えなくなり自分の力を発揮できないかもしれない

高齢の方の相談・意見より、若者・子供の意見の方が少ない気がするから

もっと気楽に過ごせる場所に作ってほしい



「きく側」である大人に対してしっかり意見を聞く姿勢をもってほしいという声が多く寄せられました。プランではみなさんにとって身近な大人が「きく側」として意識を高めるための取組も進めていきます。また、「京都市はぐくみプラン<2025-2029>（やさしい版）」では子ども・若者のみなさんから実際にいただいた、公園や市立中学校給食への意見に対して、京都市がお答えしています。

③ ここにいたいと思える場所づくり

主な意見



みんながここにいたい！と思うあそびばがほしい

子どもが一人でも落ち着ける場所が必要な子がいると思った



楽しく遊べる場所がほしいという意見のほかに、安心できる、人とつながれる、など場所づくりに対して様々なアイデアをいただきました。様々な「ここにいたい！」にこたえられるよう、場所づくりに取り組んでいきます。

④ 京都ならではの伝統体験

主な意見



京都で歴史を作ってきた伝統文化を、京都にいるからこそ学びたい

自分が住んでいるところの自慢出来ることが分かったと少しわくわくする



伝統文化を守りたい、知ってほしいという意見のほか、実際に体験してみてさらに知りたくなったという意見も寄せていただきました。令和7年度には小・中学校などで京都の一流の芸術家から文化芸術を学ぶ「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」を今の約60か所から約100か所できるよう充実させるなど、これからもさらにみなさんが伝統文化に触れられる機会を増やせるよう取り組んでいきます。

⑤ いろんな悩みを解決するしくみ

主な意見

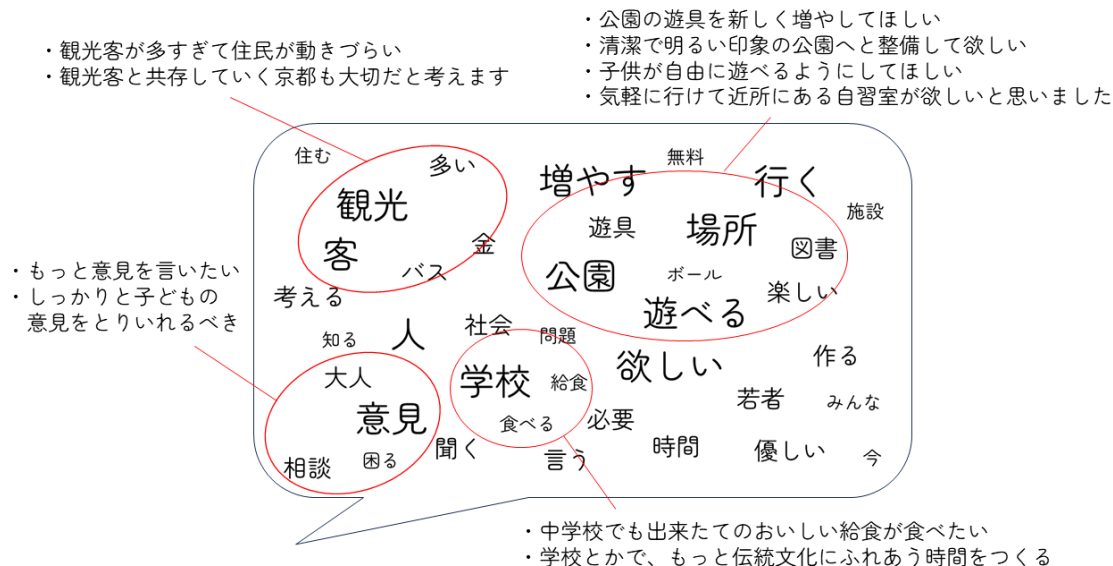


悩みを気軽に言えるような環境を作り、誰もが悩みを打ち明けられる世の中になってほしい

周りの人に言えない悩みがある人が居ると思う

意見のなかで、相談できる環境の大切さ、気軽さが求められていることを受けて「京都市はぐくみプラン<2025-2029>（やさしい版）」では、相談窓口を身近に知っていただけるよう、メール・電話・対面といった相談の方法別に各窓口を紹介しています。

▶読んで思ったことなど自由に書いてください。



※この図は自由に意見を書いてもらう項目で出てきた言葉の中から多かった言葉を抜粋して表しています。

目標 1 と関係する公園や遊び場に関すること、目標 2 と関係する意見を伝えることや聞くことに関するこの他に、観光客に関することや中学校給食のことが挙げられていました。

京都市では観光課題への取り組みとして、観光客が集中する時期・時間・場所の分散化や宿泊税を活用した様々な施策を実施しています。

くわしい取組については、[観光政策の見える化冊子「みんなでつくる京都観光」](#)（作成：京都市・京都市観光協会）をご覧ください。

市立中学校給食については、「京都市はぐくみプラン<2025-2029>（やさしい版）」にて取組の内容を掲載しています。

みなさんからの意見をしっかり受け止め、京都市はぐくみプラン<2025-2029>に取り組んでいきます！